

## 管理段階 4 の一般原則

## 適用範囲

本作業指針シートは ILO 化学物質管理ツールキットの一部で、管理段階 4 が適用されるときに使用する。

## 背景

管理段階 4 の「特殊」は、本ツールキットの他の作業指針シートに記載されている以外の特異な規範や専門家のアドバイスが必要になる事項について補足するものである。このような内容は、ILO が作成した詳細な手引き書や各国で作成された指針などに記載されていることが多いが、扱う物質またはプロセスによっては、専門家を必要とする場合もある。詳細については、これらの情報源を確認すること。管理段階 4 が必要になる条件を次に示す。

- 有害性グループ E の化学物質を扱う場合。この化学物質は、癌や喘息などの重度の健康被害を及ぼす可能性が高いため、安全レベルを設定することが難しい。同じ有害性グループでも、化学物質の種類が異なれば、異なる管理が必要になる。
- 空中に飛散して重度の健康被害を及ぼす可能性が高い化学物質を大量に扱う場合。このような化学物質を扱う場合は、すべての面で、本ツールキットで示した規範より高いレベルの規範が必要になる。

上記の条件のどちらかに当てはまる場合は、まず、もっと安全な化学物質が使えないかという観点でプロセスを見直すこと。代替えできる化学物質が見つからない場合は、下記の参考文献などから必要な管理段階に関する規範を入手すること。

## 参考文献

- Industrial Ventilation: A Manual of Recommended Practice. American Conference of Government Hygienists. ISBN 1882417429
- Handbook of Occupational Hygiene. Croner Publications. ISBN 0903393506
- HSE Guidance Notes, Environmental Hygiene (EH) series. HSE Books. ISBN various.
- The ILO International Occupational Safety and Health Information Centre (CIS). <http://www.ilo.org/cis>
- The International Chemical Safety Cards (ICSC) of the International Programme

on Chemical Safety (IPCS).

<http://www.who.int/ipcs> and <http://www.ilo.org/safework>

- The Globally harmonized system for the classification and labelling of chemicals (GHS).

<http://www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/ghs.html>